

従業員体験向上プラットフォーム「TUNAG」を導入

～従業員一人ひとりが参画する、全社に一体感を生むコミュニケーションDXへ～



富士シティオ株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：川本 大作、以下 富士シティオ）は、株式会社スタメン（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：大西 泰平）が開発・提供する従業員体験向上プラットフォーム「TUNAG（ツナグ）」を導入したことをお知らせいたします。

富士シティオでは、多様な働き方が進む中で、「従業員一人ひとりが同じ方向を向き、現場の声を経営に活かす仕組み」の必要性を強く感じてきました。特に、本部と店舗の間、さらには部門間で“互いの状況をよく知らない”という隔たりが課題として顕在化していました。

当社が地元寄り、日々の暮らしを支える企業であり続けるためには、まず、働く「みんな」が想いを共有し、いきいきと力を発揮できる環境づくりが欠かせないと考えています。さらに、「会社には実は良いところがたくさんある。それをもっと従業員に知ってもらい、会社を好きになってほしい」という想いも、今回の取り組みを後押ししました。今回の導入は、その実現に向けた重要な一歩です。

本導入により、従来は紙や掲示板が中心だった社内情報の伝達をデジタル化。正社員・パート・アルバイト、雇用形態に関わらず、経営メッセージや現場の好事例、仲間の活躍にリアルタイムで触れられる環境を構築しました。

個人が所有するスマートフォンからも閲覧できるため、勤務時間外でも負担なくアクセスでき、気になった時にいつでも情報を手軽に確認できる利便性も実現しています。

拠点や雇用形態の垣根を越えた情報共有を通じて、組織エンゲージメントの向上と、現場起点のコミュニケーション文化の醸成を目指します。

NEWS RELEASE

TUNAG 導入の背景

従来課題

多店舗展開を行う小売業である富士シティオでは、本部と店舗、また店舗内の従業員同士のコミュニケーションにおいて、以下のような課題を抱えていました。

・情報共有のタイムラグ

紙媒体の社内報は、情報が従業員に届くまでに時間を要していました。

・拠点、部門を越えた相互理解とコミュニケーションの不足

本部と店舗の間、または他店舗同士・部門同士で、業務内容や取り組みが見えづらく、「お互いが何をしているのか知らない」状態が生まれていました。その結果、成功事例や工夫が共有されにくく、組織全体として知見を活かしきれていない状況がありました。

・「人」に焦点を当てた繋がり希薄化

従業員数が多い中で、経営層の想いや、日々現場で活躍する仲間の姿が見えにくくなっていました。

これらの課題は、従業員のエンゲージメント低下や理念浸透の阻害につながりかねず、持続的な組織成長に向け、タイムリーで双方向性を備えたコミュニケーション基盤の構築が急務となっていました。

TUNAG 選定ポイント

数ある社内 SNS・エンゲージメントツールの中から、以下の3点を評価し、TUNAG の導入を決定しました。

① 「安心・安全」に利用できる管理体制

1人1アカウント制により発信責任を明確化しつつ、雇用形態を問わず、従業員が等しく情報を受け取り、発信できる環境を評価しました。

② 現場が迷わず使える「制度（フォーマット）」設計

自由投稿に頼らず、社内報、アイデアボックス、店舗自慢など、目的に応じた投稿フォーマットを柔軟に設計できる点を評価。IT ツールに不慣れな層でも使いやすく、運用ルールを保ちやすいことが決め手となりました。

③ 導入後も伴走するサポート体制

導入して終わりではなく、自社課題に即した活用提案や他社事例の共有など、継続的に支援を受けられる点を高く評価しました。

NEWS RELEASE

活用内容

富士シティオでは、2025年11月より、運用状況を確認しながら段階的に、PCおよびスマートフォンアプリでTUNAGの利用を開始しています。



主な活用シーン

- 経営メッセージの配信**
 社長メッセージや役員コラムを、動画やテキストでタイムリーに発信。
- 部署、スタッフ紹介**
 チームや個人にスポットライトを当て、一緒に働く仲間への関心と相互理解を促進。
- 現場の好事例・取り組みの共有**
 店舗での取り組み事例や、本部での新商品開発ストーリーを共有し、日々の売場づくりの参考として活用。
- 社内規定・ナレッジの周知**
 マニュアルや社内ルールを分かりやすい形で再発信し、従業員の理解・浸透を促進。

TUNAG 導入により期待される効果

まずは、情報の透明性を高めることで、従業員一人ひとりが富士シティオの「今」を自分事として捉えられる状態を目指します。

NEWS RELEASE

将来的には、TUNAG を通じて現場から自発的な発信や称賛の文化が生まれ、「働くことが楽しい」と感じられる職場環境を実現し、従業員エンゲージメントの向上を通じて、店舗でのサービス品質向上、ひいてはお客様満足度の向上につなげていきます。

導入担当者コメント

これまで冊子形式の社内報を配布していましたが、発行部数やページ数の制約により、情報が全従業員に行き渡らず、書き手の想いが十分に伝わらないという課題がありました。また、制作に多くの工数がかかるため、発行まで約3か月を要し、情報がタイムリーに伝わっていませんでした。こうした状況を改善するため、Web社内報として活用するためにTUNAGを導入しました。

TUNAGは、従業員がいつでもアクセスでき、記事や写真を制限なく掲載できるだけでなく、コメントやリアクションを通じて双方向のコミュニケーションが可能です。導入により、情報発信のスピードと運用効率が大幅に向上し、「TUNAGをきっかけにした会話が生まれた」という嬉しい声も寄せられています。より身近で活発なコミュニケーションを通じて、従業員が会社の魅力を再発見し、誇りや愛着を感じられる環境を育み、組織全体の絆を強めていきたいと考えています。



経営企画室 菊池圭

TUNAG について

組織と人に”働きがい”を

エンゲージメント向上を支援する



TUNAG

社内掲示板

web社内報

理念浸透

サンクスカード

社内チャット

ワークフロー

福利厚生

組織診断



利用中企業
1,300社
以上

2025年12月時点

アカウント数
150万
以上

2025年12月時点



富士シティオ株式会社

NEWS RELEASE

「TUNAG（ツナグ）」は、組織のエンゲージメントを高めるためのオールインワン・プラットフォームです。社内ポータル、社内 SNS、サンクスカード、社内報、ワークフローなど、組織運営に必要なあらゆる機能を 1 つのアプリで実現。1,300 社以上の導入実績に基づいた専任担当者による「伴走支援」が特徴で、企業の課題に合わせた独自の「社内制度」を設計・運用することで、強い組織づくりを支援します。

サービス名：TUNAG（ツナグ）

運営会社：株式会社スタメン

公式サイト：<https://tunag.jp/>

富士シティオ株式会社について

富士シティオは、神奈川県を中心に 48 店舗を展開するスーパーマーケットです。「みんなの笑顔が見たいから」という想いのもと、地元寄り添い、安心とおいしさを届けながら日々の食卓を彩ります。「この街にあってよかった」と感じていただけるよう、地域に寄り添いながら成長し続けます。

存在価値／パーパス

富士シティオはなんのために存在しているのか。
富士シティオの存在価値について明文化したものです。

みんなの笑顔が見たいから。
私たちは地元寄り添い、信頼とふれあいを通じて、
日々の暮らしを支えます。